

## 2023-24 年度 RI 第 2680 地区 地区活動方針



### ガバナーの行動指針

“Act with Integrity

Serve with Love

Work for Peace”

真心の行動、慈愛の奉仕、平和に貢献

### 地区運営方針

#### 地区目標

- ◆ 私たちの旅路・・・希望を伝えよう。ロータリー活動のあらゆる方面から。
- ◆ 会員としての経験を活かそう・・・経験を活かして協力の機会を見つけ、計画を立てて成果を上げよう。
- ◆ 奉仕のインパクト・・・長期的で持続的なニーズを掘り起こし、成果を測定し、将来の人材を育てよう。
- ◆ 地区における DEI の理解と実践の継続・・・私たちの文化にしよう。
- ◆ 私たちはロータリー・・・ロータリーのストーリーを語ろう。
- ◆ 変化を導く・・・Be(どうあるべきか)、Know(自分の強みを知っているか)、Do(何をすべきか)を使い変化に対応しよう。

#### 重点目標

全てのロータリー活動が、「輝く」ようになることに重点をおく。

- ◆ DEI (Diversity, Equity, Inclusion/多様性、公平さ、インクルージョン) は私たちそのものを映し出す文化とし「社会的スティグマの解消」を目指し、地区及びすべてのクラブに行動を促す。
- ◆ 会員増強を推進し、新しいタイプのクラブの運営の仕方を創出する。
- ◆ 「平和」を基礎に活動する。
- ◆ メンタル・ヘルスを考え、ロータリアン、地域社会のあらゆる人々に寄り添うロータリーを目指す。

## ガバナー補佐の活動

- ◆ RI 会長の方針の理解と新しい地区戦略計画の理解と実践を行う。
- ◆ グループ内のクラブを年間 4 回以上訪問し、併せてローターアクトクラブも訪問し、クラブの現状を把握し、改善すべき問題点があれば、ガバナーと協議の上、助言、指導する。
- ◆ 関係委員会と連携し、クラブやグループが奉仕プロジェクト・補助金プロジェクトに積極的に取り組むように、クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたる。
- ◆ 関係委員会と連携し、各種セミナーや地区大会に多数の会員が参加するように推進する。
- ◆ 将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
- ◆ ガバナー補佐主導によるグループ内の親睦、学び、奉仕を積極的に推進し、「メンタル・ヘルス(心の支え)」としての IM を開催する。
- ◆ 研修委員会の委員として、特に「メンタル・ヘルス」を考えて会員の研修を推進する。
- ◆ 地区内インター・ローターアクトクラブ、環境の保護小委員会と連携し、プロジェクトの助言、支援をする。

## 地区委員会活動

### 全委員会共通

- ◆ 事業計画を確定し、予算の枠内で委員会を運営する。
- ◆ 従前の活動内容を見直し、新しい活動を企画し、実施する。
- ◆ 地区チームとして、クラブの活性化を実現するため、委員会相互間の情報交換をし、効果的な委員会活動を行う。
- ◆ 全ての委員会活動を将来のリーダー育成に資するものとする。
- ◆ 効果的な委員会セミナーを企画する。(一部委員会を除く)
- ◆ 新しい地区委員を育成し、地区の要職に就けるリーダーを育てる。

### 研修委員会

- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会の計画において、ガバナーエレクトを援助する。
- ◆ 地区指導者育成セミナー、クラブとローターアクトの指導者育成セミナー、その他の研修会の計画において、ガバナーを援助する。
- ◆ DEI 小委員会は、RYLA 小委員会との連携によりメンタル・ヘルスを考えた、会員、その他の対象者のための具体的なロータリーの関わり方を研究する。

### RLI 委員会

- ◆ RLI 方式によるインタラクティブな討論ができる研修を実施する。
- ◆ DEI、メンタル・ヘルスを含めロータリーのビジョン声明、その中の優先事項の目標に沿った研修を研究し実施する。
- ◆ ガバナー補佐研修、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会、地区委員会のセミナーを積極的にサポートする。

## 戦略計画委員会

- ◆ 国際ロータリーの戦略計画に対する理解を推進するとともに、クラブの戦略計画委員会の設置を推進し、その活動を支援する。
- ◆ 新しい地区の戦略計画を理解し実践のためのセミナーやクラブ支援を推進する。

## 規定審議委員会

- ◆ 2025年規定審議会に提出する制定案を、クラブの意見を踏まえて提案する。
- ◆ 2022年規定審議会で採択された制定案のクラブへの周知をさらに図る。

## 危機管理委員会

- ◆ 地区並びにクラブでの危機管理事案に速やかに対応する。
- ◆ クラブにおける危機管理への認識を高めるためのセミナーを実施するとともに、クラブ危機管理委員会への支援を行う。
- ◆ 特に、倫理面の理解と実践を DEI 小委員会および各カウンセラーシステムのある委員会とで行う
- ◆ 地区委員会における危機管理意識の向上を図る。

## 地区財務委員会

- ◆ 地区予算案の作成並びに地区資金の管理を行い、地区の財務に関する年次報告書を作成する。
- ◆ 収支が正確に保持されているか常時確認する。

## 奉仕プロジェクト特別会計委員会

- ◆ 奉仕プロジェクト特別会計への特別な理由での資金支援申請を審査する。
- ◆ 資金支援を行った奉仕プロジェクトの実施報告を確認する。

## 監査委員会

- ◆ 地区活動並びに会計が適切になされたかを監査する。

## クラブ管理運営委員会

- ◆ 他の委員会と連携しつつ、クラブをサポートし、クラブの活性化を図る。
- ◆ クラブの活性化と多様化、DEI の理解を図るための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ クラブ運営の柔軟性について検討する。
- ◆ My ROTARY への登録率向上と利用促進を図る。

## 会員維持増強委員会

- ◆ あらゆるジェンダーの会員の増強を図る。
- ◆ 会員増強及び会員基盤の多様化に成功した地区やクラブの手法を検証し、各クラブにその手法を紹介する。
- ◆ 地区内クラブの情報交換を密にして会員増強につなげる。
- ◆ 退会防止に向けた企画・提案を作成し推進する。
- ◆ 衛星クラブを含め多様性のある新クラブの設立を推進する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 会員増強・新クラブ結成推進月間(8月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

## 公共イメージ委員会

- ◆ ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。
- ◆ 地区 SNS により活動を内外に発信する。
- ◆ 社会奉仕委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学・検証し、地域や他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 報道機関との交流会を企画し、実施する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。

## 職業奉仕委員会

- ◆ ロータリーにおける職業奉仕の理念について委員会で研鑽し、その成果を踏まえて職業奉仕の基本理念が、広く会員に理解されるようなセミナーおよび公開委員会を実施する。
- ◆ 職業奉仕月間(1月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。

## 青少年奉仕委員会

- ◆ 青少年奉仕関連プログラムを関係委員会、クラブと連携し推進するとともにクラブの青少年奉仕活動の認知度を高め、協力体制を強める。
- ◆ リーダー育成のための研修プログラムを構築する。
- ◆ インターアクトクラブの活動を支援し、より活性化するための方策を提案する。
- ◆ 新たなインターアクトクラブの設立を目指す。
- ◆ RYLA プログラムへの会員の理解を深め、実施する。  
(メンタル・ヘルスを考慮したセミナーも含め)
- ◆ クラブとの協力のもとに青少年交換プログラムに取り組み、プログラムを成功に導くためのマニュアルを整備する。
- ◆ 新世代交換を再開する。
- ◆ 効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 青少年奉仕月間(5月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ 学友委員会他関係委員会と連携し、学友の活動を支援する。
- ◆ 青少年奉仕関連プログラムの危機管理体制を確立する。
- ◆ 環境の保護小委員会と連携し、今年度のプロジェクトに協力する。

## ローターアクト委員会

- ◆ RI 構成クラブとしてのローターアクトクラブの活動を活性化し、会員増強及びクラブの拡大の方策を提案し実施する。
- ◆ ガバナー公式訪問を支援する。
- ◆ 危機管理体制を確認する。
- ◆ ウクライナ支援のためのアジアルートをローターアクトと協力・開拓し、支援を行う。

## 学友委員会

- ◆ 5 学友会相互間の交流を促進し、ロータリーファミリーとしての一体化意識を形成する。
- ◆ 地区やクラブの行事への学友の参加を積極的に推進し、ロータリーに対する理解を深める。
- ◆ 青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会と連携し、ロータリーファミリーの集いを企画し実施する。
- ◆ 学友を中心とした新しいタイプのクラブの創出を推進する。

## 社会奉仕委員会

- ◆ クラブの社会奉仕活動を推進し、ロータリーの奉仕の理念が広くいきわたるセミナーを実施する。
- ◆ 会員増強にもなるクラブやグループが地区補助金プロジェクトを積極的かつ円滑に行えるように、必要な支援を行う。
- ◆ 公共イメージ委員会と連携して地区補助金プロジェクトの実施状況を見学・検証し、他クラブへの情報発信を行う。
- ◆ 発達障がい理解のための講演会を開催するとともに、クラブが開催する講演会を支援する。
- ◆ プロバスクラブとの相互理解を図るとともに活性化を図る。

## 国際奉仕委員会

- ◆ 国際奉仕のプロジェクトを推進するための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。
- ◆ VTT、奨学金・平和フェローシッププログラムを支援する。
- ◆ 国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。

## ロータリー財団委員会

- ◆ 6 つの小委員会が互いに連携し、ロータリー財団の活動を推進する。
- ◆ ロータリー財団セミナー、補助金管理説明会、補助金管理セミナーを実施し、ロータリー財団への理解を深める。
- ◆ ロータリー財団補助金プログラムの最終審査を行うとともに、プログラムが適切かつ適正に実施されるように指導及び管理をする。ポリオ根絶のための活動を積極的に支援する。
- ◆ ロータリー財団月間(11月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ ロータリー財団への寄付を推進する。

## 米山記念奨学委員会

- ◆ 米山記念奨学会の目的や活動内容についての会員の理解を深める。また、そのための効果的なセミナーを実施する。
- ◆ 米山奨学生が会員との交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図るようにする。
- ◆ 米山月間(10月)におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ 米山記念奨学会への寄付を推進する。
- ◆ 米山奨学生学友会(兵庫)の活動を支援する。
- ◆ PHD 協会の活動を支援する。
- ◆ 米山学友新クラブ設立小委員会を引き続き設置し、米山学友の新クラブ設立活動を支援する。

## 2023-24 年度年間数値目標

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 1. 会員増強          | 各クラブ純増 2 名              |
| 2. My ROTARY 登録率 | 75%以上                   |
| 3. ロータリー財団年次基金   | 1 名あたり 160 ドル           |
| 4. ロータリー財団恒久基金   | ベネファクターまたは遺贈友の会会員 10 名増 |
| 5. ポリオ基金         | 1 名あたり 40 ドル            |
| 6. 米山記念奨学会       | 1 名あたり 17,000 円         |

## 2023-24 年度ロータリー賞

### 重要事項

1. ロータリークラブ・セントラルを開く
2. 目標内容を確認する
3. その中から半分を超える目標（全目標の 51%）を選ぶ
4. 選んだ目標を達成する
5. ロータリークラブ・セントラルで目標の達成を報告する
6. 達成を祝う！

### 留意点

- ロータリー賞の手続きはオンラインで行われます。
- クラブは、1 年（2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日）をかけて達成に取り組みます。
- ロータリー賞を獲得するには、その年度を通じて正規クラブであり、瑕疵（人頭分担金の未納）がないクラブでなければなりません。
- ローターアクトは、ローターアクト会長または提唱クラブ会長が、オンライン推薦状を提出してクラブ推薦します。ローターアクトクラブ 1 件の推薦のみを提出することができます。
- インターアクトは、スポンサーのロータリークラブ会長が、賞へのオンライン推薦状を提出します。
- ローターアクトとインターアクトの表彰状は My ROTARY からダウンロードする PDF 形式となり、賞への推薦はオンラインで行われます。